

1 「生活に役立つ衣服の手入れ」の単元構想（10時間完了）

単元の目標

- ① 身の周りの衣服に関心をもち、進んで手入れをしようとすることができる。
- ② 衣服に合った手入れについて、いろいろなものや人とかかわりながら考え、工夫しようとするすることができる。
- ③ 衣服に合った方法で手入れをすることができる。
- ④ 衣服に合った手入れの仕方が分かる。

段階	場面	各過程のねらい	生徒の学び	教師支援
発見	つかむ	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の働きと衣服に合った手入れの方法があることに気付くことができる。 	<p>お気に入りの服装のよさを紹介し合おう 0.5</p> <p>こんな服が流行しているんだな。私ほスカートよりズボンの方が好きだな。このシャツにはピンクより黒のズボンの方が似合いそうだな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 普段着ている衣服を持ってくるように指示し、なぜその服が気に入っているのか考えるようにする。(評) お気に入りの理由を発表したり、友達の発表を聞いたりすることにより、衣服の働きについて理解できたか判断する。
	見通す	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の組成表示、取扱い絵表示を見ることにより、衣服に合った手入れの方法があることを知る。 	<p>お気に入りの衣服をもっと大切に気持ちよく着るにはどうすればよいか考えよう 0.5</p> <p>ただ洗濯機に入れて回すだけではだめみたいだ。手洗いしないといけないんだ。中性洗剤を使わないといけないんだな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 汚れたらどうするか、しわになったらどうするか等の発問をする。(評) 表示の見方が分かったか、生徒の活動の様子から判断する。
確認	確かめる	<ul style="list-style-type: none"> 衣服についている表示の見方、布地の性質について実験等を通して考えることができる。 	<p>自分たちの衣服についてもっとよく知ろう 2~3</p> <p>組成・サイズ・取扱い絵表示・織り方・汚れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 繊維の性質についての理解を深めるために実験を取り入れる。 布地の織り方にも目を向けるために、拡大鏡を取り入れる。(評) 布地にはいろいろな性質があり、それに合った手入れの方法があることが分かったか、活動の様子やプリントから判断する。
	生かす	<ul style="list-style-type: none"> 燃焼実験 吸水実験 耐アルカリ性実験 拡大鏡の利用 今後の衣服選びに生かすことができる。 どんな手入れの仕方があるか考えることができる。 	<p>〈学び〉 取扱い絵表示の見方</p> <p>〈アクション〉 繊維の性質と取扱い絵表示の関係を理解するために布地の実験をする場をつくる。(もの・こと)</p> <p>〈生活〉 見た目重視の衣服選び</p> <p>手入れの仕方を考えよう。 洗濯・しみ抜き・アイロン掛け・ブラシ掛け・ほころび直し</p>	
追究	つかむ	<ul style="list-style-type: none"> 洗濯の必要性を考えることができる。 	<p>なぜ手入れをしなければならないのかを考えよう 4</p> <p>〈学び〉 洗濯の必要性</p> <p>〈アクション〉 目に見えない汚れを実感させるためにニンヒドリン試薬の実験によって汚れを視覚的にとらえる場をつくる。(もの)</p> <p>〈生活〉 見た目こだわりの洗濯について関心のない生徒</p>	<ul style="list-style-type: none"> なぜ洗濯が必要なのか、特に健康面の機能を押さえ、目に見えない汚れにも気付くことができるようにするために視覚に訴える実験を取り入れる。(評) 洗濯の必要性が分かったか、活動の様子やプリントから判断する。
	見通す	<ul style="list-style-type: none"> 上手な手入れの方法について課題をもって調べ、実践できるようにする。 	<p>衣服の手入れをしてみよう 5~7</p> <p>紅茶をこぼした時は、漂白剤を使ったよ。あて布をして中温でアイロンがけをしたよ。スカートのはまつり縫いはするといいんだよ。</p> <p>部活で使った体操服は水洗いだけでもきれいになるのだから。洗剤を使ったらどのぐらいきれいになるのだろう。冬の制服ほどのくらい着たらクリーニングに出すよいだらう。</p> <p>取扱い絵表示を見てから手入れをしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教え合いができるよう場の工夫をする。(評) 問題意識をもって、自分でできそうなことを考え、解決しようとしていたか、活動の様子から判断する。
拡大	確かめる	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことを教え合い、更に多くの実践ができるようにする。 	<p>友だちの発表からいろいろな手入れの方法を知ろう 8~9</p> <p>汚れの種類に合ったしめたアイロンの掛け方</p> <p>生活に密着したほころび直し</p> <p>洗剤の効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> クリーニング師の仕事の様子をビデオに撮っておいたものを見せる。(評) 積極的に調べたことを教えていたか、また学ぼうとしていたか、活動の様子やプリントから判断する。
	生かす	<ul style="list-style-type: none"> 更に実践しようという気持ちを高めることができる。 	<p>家で行った手入れについての実践報告会をしよう 10</p> <p>中性の洗剤で手洗いをしたよ。手で部分洗いをしてから洗濯機で洗ったよ。このTシャツは色落ちするから陰干しをしたんだよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> (評) 友達の発表を聞くことによって、更に実践しようとすることができたか実践プリントから判断する。

単元を通して「生活をひらく知恵」を身に付けた生徒の姿

- A 自分の衣服の素材、着方などに関心をもち、進んで手入れをしようとする生徒。
- B 自分の気に入った衣服をより長持ちさせるための手入れの方法を身に付けようとする生徒。
- C 自分の衣服だけでなく、身の回りの多くの衣服について選択・手入れ・整理などを身に付け、生活に生かそうとする生徒。